

**月度個人山行報告書			報告者	鈴木(隆)	参加 メンバー	CL:板倉 亀山 鈴木(隆)
			報告日	11/13		
山域	飛騨山脈	山行日	02年 11月2日(土) ~			
山名	黒部五郎岳		02年 11月4日(月)			

山行目的	冬山偵察	コースタイム(天候:天気図記号)
------	------	------------------

配布先	ルート図(地図を見て正確に)
集会:12	
山行:1	
リーダー	
原紙:集会担当者	

2.5万分の1地図:下之本、有峰湖、薬師岳、三俣蓮華岳

11月1日:天気 晴	09:40 北ノ俣登り(1本)
20:00 部室発	10:40 北ノ俣登り 約2400m地点 (引き返し地点)
0:30 神岡着(道の駅)	
11月2日:天気:曇後雪	11:10 北ノ俣避難小屋(1本)
06:00 道の駅発	12:10 寺地山山頂(1本)
07:50 打保発	13:00 テン場着
08:50 北ノ俣登山口(1本)	
10:10 谷の登り(1本)	
11:45 湿原地(1本)	11月2日:天気:雪
13:05 寺地山登り(1本)	04:00 起床
14:40 テン場着(寺地山手前)	05:55 テン場発
	07:11 湿原地(1本)
11月3日:天気:雪	08:50 尾根分岐(1本)
04:30 起床	10:10 打保着
06:05 テン場発	
07:00 寺地山手前(1本)	
07:05 寺地山山頂	
08:15 北ノ俣の尾根(1本)	

山行報告

[11月1日(金)] 部室集合にて装備を搬入し、出発。名古屋高速、東海北陸経由で神岡に向かう。神岡の道の駅でテントを張り、寝ようと思ったらおまわりさんに職務質問された。(不審者と思われたらしい。)

[11月2日(土)] 6時に道の駅を出発し、打保に向かう。雨が途中から雪に変わり、峠道にはうっすらと積雪があり慎重に運転する。打保のバス停留場で車を止め、準備を整えて出発する。登山口までの林道は5cm程度、北ノ俣登山口からは15cm程度の積雪があった。湿原地手前のピークまでは谷沿いに登るが積雪があり分かりづらい。湿原地から寺地山への登りはひざ下程度まで積雪があり、トップを交代しながらの登りとなった。積雪も多くなかなか進まず寺地山山頂手前の樹林帯でテントを張った。

[11月3日(日)] 4:30に起床し、テントを置いて黒部五郎に向け出発する。昨晚から降り続けている雪でさらに積雪が増し、多いところでは腰まで埋まった。寺地山山頂まで1時間かかり、そこから北ノ俣までの尾根をひたすらラッセルしながら進む。北ノ俣山頂への広大な斜面の登りにかかるが、雪で視界が悪く、北ノ俣の頂上はまだまだ遠い。CLの判断で2400m地点で引き返す。登りのトレースは降り続く雪ですぐに分からなくなり慎重に下る。途中薬師岳偵察のパーティーとすれ違う。13:00 テン場着。

[11月4日(月)] 昨日の薬師偵察のパーティーと湿原地まで一緒に下る。湿原地からの下りは冬合宿本番用の尾根ルートを探検する。藪は濃く登りはきつそうに感じた。夏ルートに合流し、打保に10:10着。冬合宿本番に行った気分になった。

冬本番2ヶ月前でこの積雪だとすると、冬合宿はどれだけ積もっているのでしょうか?

リーダー所見 今回偵察とはいえ、冬本番を思わせる大雪に予定通り行けなかった。偵察としては上部ができなかったが、改めて豪雪地帯であること知らされたことは、収穫であった

当然、参加メンバーは合宿までの一ヵ月半、体力アップ(ラッセル力)、装備類の軽量化、気象判断力と十分な準備をして望みたい

フリースペース
帰りに寄った温泉:流葉の湯
(流葉スキー場内)600円
施設が新しく綺麗。
温泉は皮膚がぬるぬるする
良い泉質です。

確認
(
板
2002/11/13
倉
作成
(報告者)
鈴
02/11/12
木